

公民

教科	科目	単位数	履修年次・選択群	履修区分
公民	国際社会と日本	2	3年次・I 2群 J 2群	選択

目 標	履修の条件・連絡
現代の日本や世界が抱えている時事的な問題について、広い視野に立ち、多角的に事象を見る力を養うとともに、現代に生きる人間としての在り方生き方について考え、良識ある公民として必要な資質・能力と態度を育てる。	・履修条件は特になし。

使用教科書 (出版社)	2023年度版ニュース検定公式テキスト 「時事力」発展編 (毎日教育総合研究所)	副教材 (準備物)	なし
----------------	---	--------------	----

学 習 の 年 間 計 画	期	月	学習内容 (単元・項目)	学 習 の ね ら い
	1 学 期	4月	「暮らし」について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・急激に進行する日本社会の少子高齢化の現状と要因を多角的に考察し、その解決に向けて進むべき方向を他国の事例を参考に考える。</li> <li>・社会保障について基本的な事項を確認し、超高齢社会の日本における社会保障の在り方について考える。</li> <li>・情報社会について確認し、キャッシュレス決済など情報通信技術の進歩やその裏側に潜む危険性について考える。</li> <li>・防災について変化する対策を理解し、身近な地域の取組に注目させる。</li> </ul>
		5月		
		6月	「社会・環境」について	
	2 学 期	9月	「政治」について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・選挙制度について、その仕組みを確認するとともに、政治参加の方法について考える。</li> <li>・成人年齢の変更について確認するとともに、「18歳成人」の課題を考える。</li> <li>・日本国憲法に関する基本的事項を確認するとともに、その意義や役割等について考える。</li> <li>・地方自治の現状と問題点を確認するとともに、地域活性化の在り方や手段、地域との関わりについて考える。</li> <li>・冷戦終結後の世界の構造を確認し、日本の果たすべき役割を考える。</li> <li>・難民について確認し、難民との関わり方や支援の在り方などを考える。</li> <li>・核軍縮など世界平和を考え、日本や私たちの果たすべき役割を考える。</li> </ul>
		10月		
		11月		
		12月	「国際社会」について	
	3 学 期	1月	「経済」について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本や世界の経済の現状を確認するとともに、望ましい世界規模での経済成長の在り方について考える。</li> <li>・外国為替について基本的事項や変動要因を確認するとともに、その変動が経済や私たちの生活に及ぼす影響を考える。</li> <li>・保護貿易と自由貿易について理解するとともに、望ましい貿易の在り方を考える。</li> <li>・再生可能エネルギーの基本的な事項を確認し、私たちの生活とエネルギー問題について考える。</li> </ul>
		2月		
3月				

学 習 評 価	観点	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用の技能	知識・理解
	規 準	授業の内容に関心を持ち、積極的に参加しようとしているか。 諸課題を自身の身近な問題としてとらえ、人間としての在り方生き方についての自覚を深めようとしているか。	現代の社会と諸問題に対して関心を持っているか。 社会の変化や様々な考え方を公正に判断しているか。 自分なりの方法で、意見を表現しているか。	諸資料を収集し、適切に選択して活用できているか。 作業的・体験的な学習を通して、自分の考えを表現しているか。	授業の内容が身に付き、それらを自分のものとして理解できているか。 現代社会の基本的・基本的な事項を理解し、その知識を活用できるか。
	手 段	・授業中の態度の観察 ・ICT機器の使用状況	・授業中の応答の観察	・作業学習の実施 ・統計や資料等の活用	・定期考査の実施 ・問題演習の実施
	各学期や年間の学習状況の 評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査を3分の2程度、平常点を3分の1程度の割合で評価する。</li> <li>・平常点は、授業態度や提出物の提出状況及びその内容とする。</li> </ul>			

学習上の 留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現代社会の基礎的・基本的な問題と人間としての在り方生き方に関わる基本的な事項を、分かりやすく取り上げる。</li> <li>・ICT機器を活用し、有用な情報を主体的に選択し活用して学び方を身に付けさせる。</li> <li>・生徒の応答を大切に、意欲的に授業に取り組む雰囲気を作る。</li> </ul>
-------------	--